

姫路・西播支部 秋のバスツアーのご案内

紅葉のトンネルと鈴虫寺 洛西の名寺で紅葉狩り、友禅染め体験 ～錦秋の京都を訪ね、友禅染めに挑戦!～

平成4年(1992年)11月29日に、万福寺、苔寺(西芳寺)、東福寺を訪ねる第1回姫路・西播支部のバス旅行を実施してから16回目の今年も、やはり京都の他所にはない魅力にひかれて、錦秋の京都を訪ねることにしました。

まず、長岡京「光明寺」で京都でも特別に素晴らしいとされている「紅葉のトンネル」の美しさをめでてから、「うお寿」で京風弁当の昼食をとることにしています。

次に1年を通して鈴虫のきれいな音が響く華厳寺(鈴虫寺)を参拝した後、二条の「丸益西村屋」にて友禅染め体験をしていただくことにしました。友禅染めの種類は多いのですが、今回は初心者向けの2～3種類に限定して挑戦することにしました。

錦秋の京都でのひとときを共に楽しむバス旅行に多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【副支部長 河原 幸義 記】



■と き 11月22日(日)

■集 合 [相生] JR相生駅北口バスロータリー 午前7時45分集合
[姫路] JR姫路駅南口バスロータリー 午前8時30分集合

■行 程 相生駅(8:00)～姫路駅(8:45)＝長岡京『光明寺』で紅葉狩り～総門からの紅葉のトンネルや伽藍見学＝乙訓『うお寿』で昼食＝一年中心和む音色が響く華厳寺『鈴虫寺』を参拝＝二条『丸益西村屋』で京文化・友禅染め体験＝姫路駅(18:45)～相生駅(19:15)

■参加費 1人 10,000円(昼食代、拝観料、友禅染め体験代を含む)

■定 員 40人(先着順)

◇お問い合わせは、協会事務局：小西、岡本(TEL. 078-393-1807)まで

姫路・西播支部バスツアー申込書 FAX. 078-393-1802 までお願いします

氏名	乗車駅	氏名	乗車駅
	相生・姫路		相生・姫路
	相生・姫路		相生・姫路
	相生・姫路		相生・姫路

市町名 () 医療機関名 ()
TEL. () FAX. ()

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.155 2009年10月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

西播社会保障推進協議会が自治体キャラバン学習会を開催

いまこそ西播地域の社会保障改善を



自治体キャラバンに向け、20人が学習した

宗実支部長が会長を務める西播社会保障推進協議会(西播社保協)は10月11日、姫路医療生協会館会議室で2009年度自治体キャラバンでの要望事項をまとめた「社会保障制度の拡充・改善についての要望書」学習会を、加盟団体など20人の参加で開いた。

自治体キャラバンは、県下の市町に要望書を提出し、各自治体当局と懇談を行うもの。民主党を中心とした新政権が発足し、これまでの社会保障、福祉切り捨てに対する見直しが進むなかの実施となる。

(2面に続く)

(1面から続く)

西播社保協の真崎事務局長が冒頭、今回の自治体キャラバン行動の経緯を説明。これまで西播では姫路医療生協を中心として実行委員会を組織して、西播各自治体にキャラバン行動を行ってきたが、3年ぶりに西播社保協が再建総会を開き、社会保障を主にした「要望事項」実現のため西播社保協を中心に5市6町を訪問することになったと話した。

学習会は、社保協の加盟各団体が後期高齢者医療制度、国保問題、介護保険などテーマ別に説明を行った。質疑応答・討論では、制度の問題点への理解を深め、「要望書」実現の必要性を確認しあった。

この「要望書」は、10月10日と16日に5市6町へ提出しており、11月9日～13日頃の間に各市町との懇談を実施する予定。



第218回幹事会から

10月15日(木) 於 じばさんビル

◆姫路・西播支部の会員数と組織率

643人 (医科 440人、組織率 74.6%)
(歯科 203人、組織率 44.6%)

◆情勢と運動対策、その他 新型インフルエンザへの対応について意見交換。新政権の政策について議論した。組織拡大月間に引き続き取り組むことを確認した。評議員会の議案を確認した。

◆支部の活動・企画 11/22(日)恒例の秋のバスツアーを実施する(4面に案内)
次回幹事会は、11月21日(土)14時30分より姫路商工会議所で開催。会員の先生はどなたでもご参加いただけます。
お問い合わせは、078-393-1807まで。

投稿募集!

姫路・西播支部ニュースへの投稿を募集しています。趣味や日常お考えのことなどテーマは問いません。ぜひお寄せ下さい。

FAX: 078-393-1802 E-mail: konishi-s@doc-net.or.jp
姫路・西播支部担当事務局 小西まで



企画案内

兵庫県保険医協会第76回評議員会

(臨時(決算)総会・第32回共済制度委員会)

協会はこの半年、診療報酬改定対策、医療改善や、会員の身近な要求に応える活動など、様々な活動を行ってきました。前半期の活動を振り返り、後半期の活動方針を協議するため、標記の会議を開催致します。お繰り合わせの上ご出席いただくようご案内いたします。

■日時 **11月15日(日)13時**～ / ■会場 兵庫県保険医協会会議室
・13時～ 第76回評議員会
・14時35分～ 臨時(決算)総会

14時55分～ 第32回共済制度委員会
「金融情勢の行方と生保業界の経営戦略(仮)」

三井生命保険株式会社常務執行役員 **鶴岡 重幸氏**

グローバル展開する金融業界をサブプライム問題が奈落の底に突き落とし、1年経った現在もいまだ傷の癒えない状況です。国内生保業界も大和生命を除けば直接の打撃は免れたものの、ほとんどが昨年度末赤字決算となりました。「保険医年金」の幹事会社である三井生命は、この難局にどう立ち向かっていくのか、また、日本最大の私的年金として成長してきた「保険医年金」をどう位置付けていくのか、担当常務に聞きます。会場からも直接ご質問ください。

16時～ **特別講演**

「消費税は0%にできる」
負担を減らして社会保障を充実させる経済学



日本金融財政研究所所長 **菊池 英博氏**

きくち ひでひろ 1936年生まれ。東京大学卒業、旧東京銀行(三菱東京UFJ銀行)入行。国際投融資の企画と推進、銀行経営に従事。ミラノ支店長、豪州東京銀行頭取などを歴任。文京学院大学教授、日本経済財政研究所所長。

サブプライムローンに端を発した金融危機が世界を席卷する中、民主党を中心とする政権が誕生しました。新政権は医師数をOECD平均並にしたり、医療費の総枠もOECD平均並にするという政策を発表しています。しかし、一方で財源をどうするのかという厳しい批判にさらされてもいます。この批判の背景には財政規律の呪縛があります。講師の菊池先生は、財政赤字論について「政府と新聞のマインドコントロールであり、実態とはまったくかけ離れている」と指摘。国会でも参考人として「積極的な減税や投資で景気回復を図るべき」と主張しています。バーナンキFRB議長など、アメリカ金融当局高官とも親交ある国際的エコノミストを講師に迎える講演会です。是非ともご参加ください。

※終了後、懇親会あり(参加無料)
お問い合わせは、Tel 078-393-1801まで